

用語解説

資料で用いた用語について、下記に説明します。

地域間幹線系統

複数市町にまたがる広域バス路線

例：社（加東市）～三木営業所（三木市）～明石駅（明石市）

地域内フィーダー系統

複数市町にまたがる広域バス路線に接続する支線

例：三木営業所～三木高校口～みなぎ台

※三木営業所、みなぎ台で地域間幹線系統に接続している。

平均乗車密度

1便あたりのバスに乗った乗客数を全線で平均した値

例

	3 km		2 km	
A バス 停	→	B バス 停	→	C バス 停
3 人 乗 車		1 人 下 車		2 人 下 車

$$(\text{A} \rightarrow \text{B} \text{ 間乗車人数} \times \text{距離} + \text{B} \rightarrow \text{C} \text{ 間乗車人数} \times \text{距離}) \div \text{起終点距離}$$

$$(3 \text{ 人} \times 3 \text{ km} + 2 \text{ 人} \times 2 \text{ km}) \div 5 \text{ km} = 2.6 \text{ 人}$$

輸送量

路線が運んでいる旅客の量（規模）を表す値で平均乗車密度に運行回数をかけることで算出できる。

例

平均乗車密度が 2.6 人の路線バスが 1 日 7 往復（運行回数 14 回）の輸送量

$$2.6 \text{ 人} \times 14 \text{ 回} = 36.4 \text{ 人}$$